

2014年5月14日
株式会社日立製作所

エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」のエントリーサーバに
最新の POWER8™ プロセッサを搭載した新モデルを追加し、販売開始
従来モデル比最大約 1.9 倍のトランザクション処理性能を実現



「EP8000 シリーズ」
（「EP8000 S824」、「EP8000 S814」）

株式会社日立製作所（執行役社長兼 COO：東原 敏昭／以下、日立）は、このたび、高い信頼性と可用性を備え、金融機関をはじめとした企業の基幹業務や電力・交通といった社会インフラ向けシステムに多くの実績を有する UNIX サーバである、エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」のエントリーサーバに新モデルを追加し、5月16日から販売を開始します。

新モデル「EP8000 S824」および「EP8000 S814」は、最新の POWER8™ プロセッサの搭載などにより、従来モデル比*1 最大約 1.9 倍のトランザクション処理性能*2 を実現します。また、内蔵ディスク容量の拡大とともに、内蔵 HDD と SSD の混在環境でデータのアクセス頻度に応じて格納先を自動的に最適化できる自動階層化機能を採用し、データ処理の高速化を実現します。さらに、従来の 2 倍となる 16Gbps*3 転送速度に対応したファイバーチャネルアダプタ*4 を新たにサポートし、日立のストレージ装置と接続する大規模システムにおいてもデータ処理の高速化を図ります。

*1 POWER7+™ 搭載の従来モデル「EP8000 740」と、POWER8™ 搭載の新モデル「EP8000 S824」の比較。

*2 トランザクション処理性能：関連する複数の処理を一つの処理単位にまとめて管理する処理方式であるトランザクション処理の性能のことで、プロセッサ性能だけでなく、システム全体の性能を評価するための指標。

*3 Gbps (Gigabits per second)：通信回線などのデータ転送速度の単位。ギガビット毎秒。

*4 ファイバーチャネルアダプタ：大容量ストレージ装置との高速接続を可能とするファイバーチャネル方式によるデータ転送を行うために必要となる接続装置。

また同時に、従来より金融機関や社会インフラ企業などで利用されている専用線や公衆回線などに接続するシステム向けの回線切替装置の新モデルも販売開始します。回線切替装置は、現用系サーバの障害時に、サーバと同期して通信回線を待機系に切り替えるもので、基幹システムの可用性を向上することができます。

日立は今後も、独自の高速系切替機能*5やエンタープライズディスクアレイシステム「Hitachi Virtual Storage Platform G1000」(以下、「VSP G1000」)をはじめとする日立のストレージ装置との連携により高信頼なシステム構築を実現するとともに、基幹業務システムで実績のある統合システム運用管理「JP1」などの日立オープンミドルウェア製品との連携や、AIX®*6 予防保守パッチなどの高信頼なサポートサービスの提供により、企業や社会インフラにおける IT 基盤の安定稼働を支援していきます。

*5 高速系切替機能 :サーバに何らかの障害が発生した場合に、すばやく現用系から待機系のサーバに切り替えることを実現する機能。

*6 AIX :オープンかつ高信頼な、UNIX 環境のアプリケーションが利用可能な Operating System (OS)。

■新製品の特長

1. 従来モデル比*1 最大約 1.9 倍のトランザクション処理性能向上

最新の POWER8™を最大 24way*7[従来モデル比*1:1.5 倍]搭載できるほか、プロセッサにて同時実行可能なスレッド(処理命令)数を1コアあたり最大8スレッド[従来モデル比*1:2倍]に強化しています。あわせて、メモリやデータ入出力の帯域幅を強化し、従来モデル比*1 でトランザクション処理性能を最大約 1.9 倍向上し、基幹業務におけるデータ処理時間を短縮します。

*7 way :プロセッサのコア数。

2. 内蔵ディスク容量の拡大と内蔵 HDD と SSD の自動階層化機能によるデータ処理の高速化

内蔵 HDD または SSD を搭載可能な 2.5 型ディスクスロットを 18 スロットまで拡張したほか、「EP8000 S824」では 1.8 型 SSD 専用搭載スロットを新たに 8 スロット設け、内蔵ストレージ容量を従来モデル比*1 最大 3.4 倍に拡大しています。また、内蔵 HDD と SSD を組み合わせた RAID*8 構成において、アクセス頻度の高いデータを SSD に、頻度の低いデータを HDD に自動的に再配置する自動階層化機能により、データ処理の高速化を実現します。

*8 RAID(Redundant Array of Inexpensive Disks) :複数のハードディスクドライブを組み合わせ、データを分散・冗長化し、記録することで、システムの性能・耐障害性を向上することができる技術。

3. 日立製のストレージ装置と接続する大規模システムの高速化

「EP8000 シリーズ」では、「VSP G1000」をはじめとする日立のストレージ装置との接続に独自開発のファイバーチャネルアダプタを採用することで、迅速に障害原因を究明できるとともに、スイッチなどを経由せず直接接続できるシンプルなシステム構成が可能です。今回、従来の 2 倍となる 16Gbps の転送速度に対応した新アダプタを提供し、日立のストレージ装置と接続する大規模システムのさらなる高速化を実現します。

4. 回線切替装置の新モデル提供による金融機関、社会インフラ企業システムの可用性向上

従来より金融機関や社会インフラ企業などで利用されている専用線や公衆回線などに接続するシステムにおいて、現用系サーバの障害時に待機系サーバに通信経路を切り替える回線切替装置の新モデルを提供します。「EP8000 シリーズ」の高速系切り替えを行う HA クラスタ管理ソフトウェア「HA モニタ」と連携し、サーバの切り替えと同期して自動で通信経路を切り替えることで、システムの可用性を向上します。回線切替装置への電力供給がない状態でも回線上の通信は継続できるほか、電源障害を自動検出できるなど高い信頼性を確保しています。

■新製品の概要

モデル/製品名	形状	プロセッサ (周波数)	最大プロセッサ数 (way)	メモリ容量
EP8000 S824	ラックマウント	POWER8™ (3.52/4.15/3.89GHz)	24	32~1,024GB
EP8000 S814	ラックマウント/タワー	POWER8™ (3.02GHz)	6	16~512GB
回線切替装置	スタンドアロン (搭載キットにより ラックマウントも可能)	WAN 用の通信プロトコル X.21、V.24 をサポートし、8 回線収容可能。		

■新製品の価格と出荷時期

モデル/製品名	価格(税別)	出荷時期
EP8000 S824	7,320,900 円~*9	2014 年 7 月 31 日
EP8000 S814	3,276,200 円~*10	2014 年 7 月 31 日
回線切替装置	1,950,000 円~*11	2014 年 5 月 30 日

*9 POWER8™(3.89GHz) 6way 搭載の最小構成価格。

*10 POWER8™(3.02GHz) 6way 搭載の最小構成価格。

*11 V.24 インタフェースの場合。

■エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/EP8000/>

■他社商標注記

- ・AIX、POWER7+、POWER8 は米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- ・UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■製品に関するお問い合わせ先

HCA センター

電話:0120-2580-12(利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日を除く))

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
